

エアーコンプレッサー専用ドレン油水分離装置

ドレンデストロイヤー取扱説明書

XSD25 型 / XSD50 型 / XSD75 型

この度は『ドレンデストロイヤー』をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品のご使用前に本書を最後までお読みいただき、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、手近なところに保管し必要に応じてご参照ください。

なお、品質・性能向上やその他の理由で仕様や外観が変更されることがあります。

その際には、本書の内容がお使いの製品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



本製品は、モーター・ポンプ等の電気機器を一切使用しないで特殊フィルターのみのドレン中に含有している油分を 5ppm 以下の清水にする画期的な油水分離装置です。

保証書

当社では製品の管理には万全を期しておりますが、万一のために下記の規定によりお買い上げ頂きました商品の保証をいたします。

※ 保証を有効にするため、ユーザー登録が必要です。

■ 製品保証規定 ■

1. 正常な使用状態で納入後 1 年以内に故障、または破損した場合に無償で修理いたします。
2. 次のような場合は保証期間内でも保証の対象外であり、有償修理扱いとさせていただきます。
 - ※ 修理に出す場合は、購入店または当社にご返送ください。（当社にお送りいただく際の送料並びに返送料は別途申し受けますのでご了承ください）
 - ・ 本取扱説明書に記載された条件を越える過酷環境下（異常電圧・異常温度・粉じんの多い所など）で使用された場合。
 - ・ 規定の圧力（最高圧力）以上の圧力で使用された場合。
 - ・ 製品、および部品を無断で改造された場合。
 - ・ 取扱説明書に記載した注意事項および点検、整備を順守されなかった場合。
 - ・ 火災・地震・水害・および盗難などの災害による故障。
 - ・ 消耗品、付属品などの交換を行なった時に発生する故障または不具合。
 - ・ XAB 槽等の消耗品は 1 年未満でも有償です。
3. 本製品の故障または不具合に伴う産業補償、営業補償などの二次的損害に対する保証はいたしません。
4. 本保証は、日本国内にて使用される場合に限り適用されます。

詳細につきましては、お買い求めの販売店、または当社営業部までお問い合わせください。

本製品を安全にご使用いただくために

本製品を安全にお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。

表示について

表示の意味は以下のとおりです。



警告： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

警告

本書に記載されている仕様範囲内でお使いください。

仕様範囲外の圧力や温度で使用すると、製品が破裂して怪我をする恐れがあります。

本製品の残圧がないことを確認してから、作業やメンテナンス等を行ってください。

加圧中に作業等を行うと、圧縮エアが噴出したりホース等が暴れたりして怪我をする恐れがあります。また、圧縮エア経路を覗いた場合に失明をしたり、耳を近づけた場合に難聴になったりする恐れがあります。

電源（ヒーターも含む）を使用した製品は、電源を OFF にして温度が下がってから配線やメンテナンスをしてください。

感電ややけどの恐れがあります。

ヒーターを使用した製品は、ヒーター動作中に内部のファンに手や工具を入れないでください。

手や工具が巻き込まれて怪我をする恐れがあります。

注意

直射日光や熱風が当たる場所は避けて設置してください。

腐食が進み、製品が破裂して怪我をする恐れがあります。

槽は、安定した場所に横転防止策をして設置してください。

槽が横転すると怪我をする恐れがあります。

ドレン水がこぼれた場合は速やかに拭き取ってください。

放置すると転倒の恐れがあります。

目次

残留リスク	P. 4-5
1. 現品の確認	P. 6
2. 各部の名称とその目的・外形寸法図	P. 6-7
3. 仕様表	P. 8
4. 使用上のご注意	P. 8
5. ドレントラップの選定、配管および取付例	P. 9
6. フローシートとドレン処理工程	P. 10
7. 運 転	P. 11
8. 保守・点検	P. 11-13
9. 故障とその対策	P. 13
10. 処理槽(XSD 槽)の交換方法および交換目安	P. 14-15
11. XAB 槽のリサイクル	P. 15
12. 寒冷地仕様ドレンデストロイヤー	P. 16



XSD25 型

機械ユーザーによる保護方策が必要な残留リスク一覧（略称：残留リスク一覧）

※１「危険の程度」は、以下の定義に従って分類して記載しております。

- ・▲ 危険：保護方策を実施しなかった場合に、人が死亡または重症を負う可能性が高い内容
- ・▲ 警告：保護方策を実施しなかった場合に、人が死亡または重症を負う可能性がある内容
- ・▲ 注意：保護方策を実施しなかった場合に、人が軽傷を負う可能性がある内容

※２「機械上の箇所」として示されている記号は、本製品の「残留リスクマップ」に記載されている機械上の箇所の記号です。機械上の具体的な箇所については「残留リスクマップ」をご参照ください。

No 運用 段階	作業	作業に必要な 資格教育	機械上の 箇所※２	危害の 程度※１	危害の内容	機械ユーザーが実施する保護方策
1 準備 運転 保守	設置 運転 メンテナンス	—	A	▲ 警告	感電する。火傷の恐れがある。	＜寒冷地仕様＞ ・ヒーターの配線を行う時は、元電源を切ってから行う。 ・メンテナンスの時は、ヒーターをOFFにし、元電源を切り、温度が下がってから行う。
2 運転 保守	運転 メンテナンス	—	A	▲ 警告	ヒーターに手および工具等を近づけるとケガをする。	＜寒冷地仕様＞ ・運転中は凍結する恐れがある時だけヒーターを動かし、それ以外はヒーターをOFFにする。 ・動作中のヒーターに内部にファンがあるため、手および工具を入れない。
3 運転 保守	運転 メンテナンス	—	B・C	▲ 警告	ドレンおよび圧縮空気の噴出および部品等の飛散によりケガをする。	運転中は清水出口バルブおよび他の配管をの視かない。また XSD 槽、清水確認槽の交換は行わない。
4 準備	設置	—	なし	▲ 警告	下敷きになったりケガまたは死亡の恐れがある。	設置する時は、転倒させないように注意する。 装置が移動しないよう注意する。
5 保守	メンテナンス	—	D・E	▲ 警告	残圧および入力エアードレン水による噴出の傷害、ホースの爆れによるケガ、鋭部によるケガ。	圧縮空気およびドレンが装置に入らないよう、入口バルブを閉める。残圧がないよう確認する。槽の取り外し作業時は、保護メガネ、手袋、安全靴等を使用する。
6 保守	メンテナンス	—	F・G	▲ 警告	槽の横転によるケガ。 重さによるケガ。	保護具を着用し、残圧が無いことを確認して行う。横転しないように安全に槽を保管する。
7 保守	メンテナンス	—	なし	▲ 注意	こぼれたドレン水で転倒する。	こぼれたドレン水をふき取る。

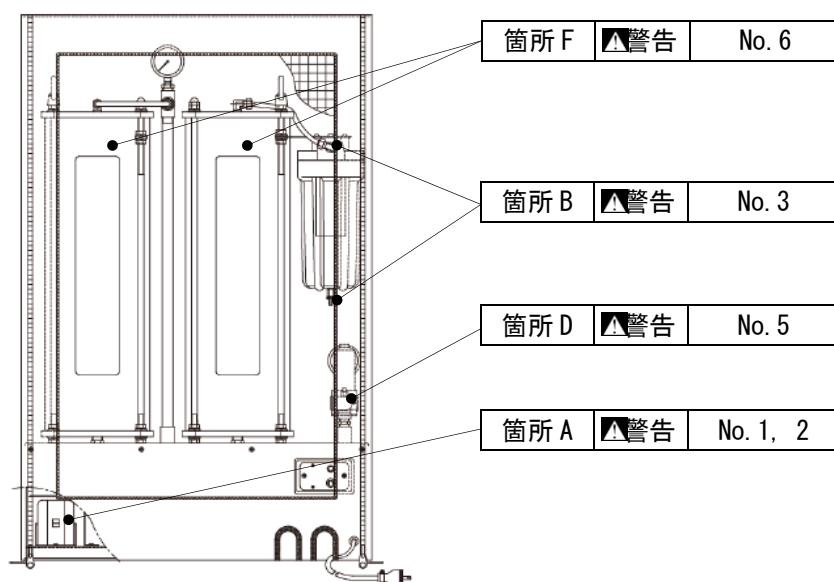
機械ユーザーによる保護方策が必要な残留リスクマップ（略称：残留リスクマップ）

製品名：「XSD 型、XSD-H 型ドレンデストロイヤー」

「残留リスク」は、以下の定義に従って分類して記載しております。

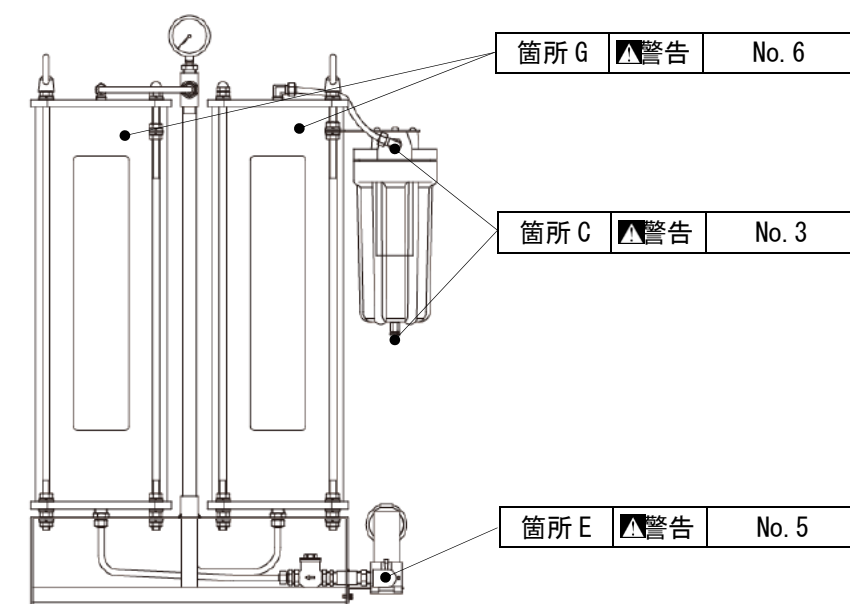
- ・  危険：保護方策を実施しなかった場合に、人が死亡または重症を負う可能性が高い内容
- ・  警告：保護方策を実施しなかった場合に、人が死亡または重症を負う可能性がある内容
- ・  注意：保護方策を実施しなかった場合に、人が軽傷を負う可能性がある内容

図中で示されている番号は、本製品の「残留リスク一覧」に記載されている、当該箇所に関連する残留リスクの番号です。各々の残留リスクの詳細については、「残留リスク一覧」をご参照ください。



寒冷地仕様

型式	本数
XSD25	1 本
XSD50	2 本
XSD75	3 本



型式	本数
XSD25	1 本
XSD50	2 本
XSD75	3 本

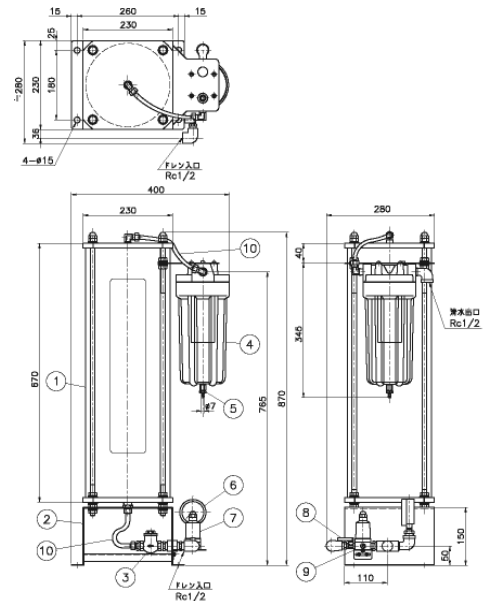
1. 現品の確認

ご注文の製品と相違ないか、並びに輸送中の事故で破損していないかお調べください。
万一不具合な所がありましたらご注文先にご照会ください。

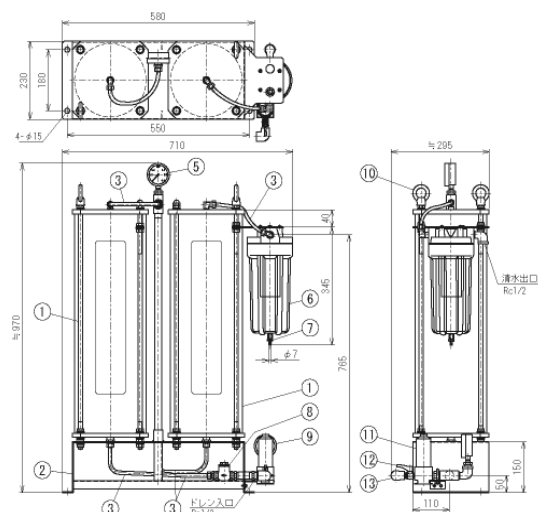
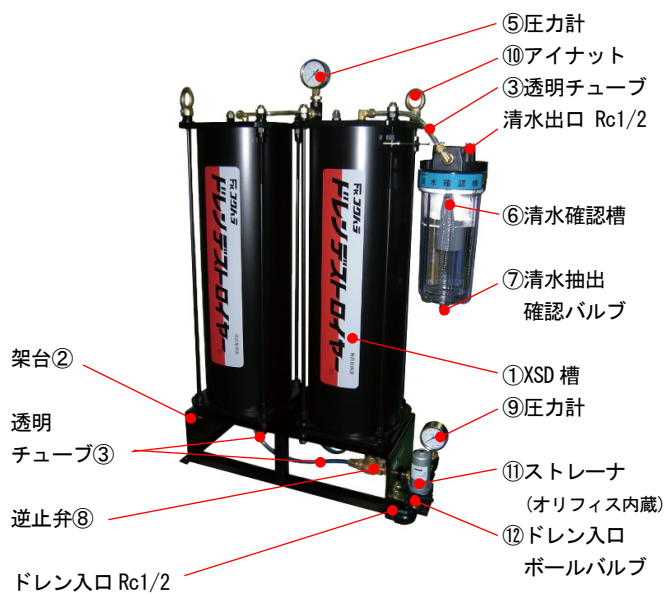
2. 各部の名称とその目的・外形寸法図

(注)○の数字は製品図面の図面番号に合わせています。

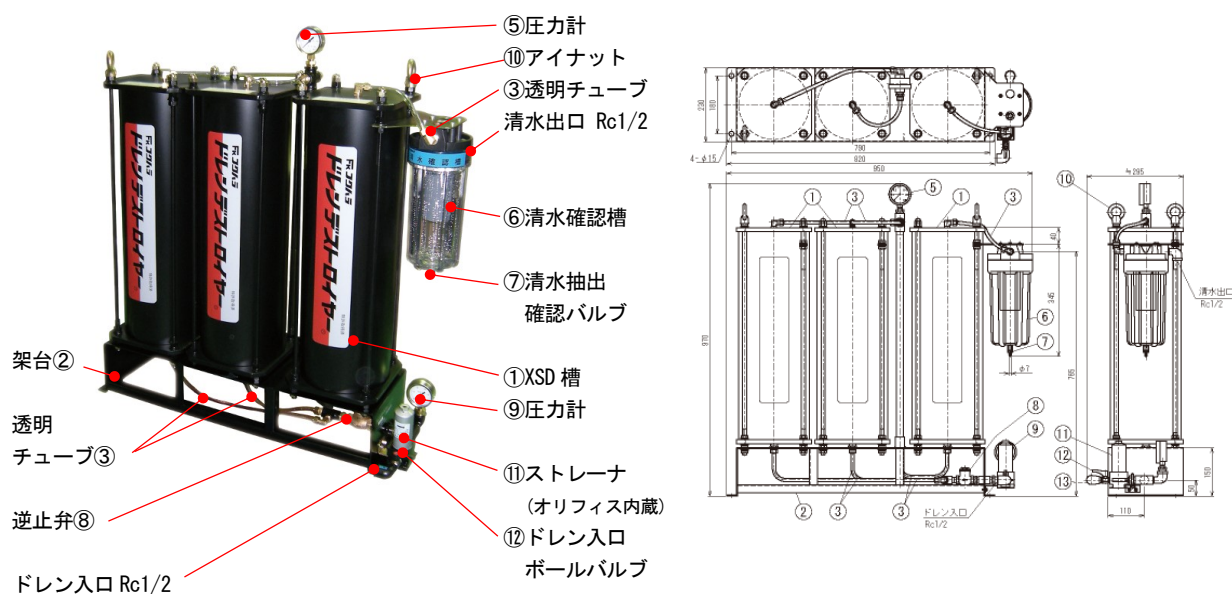
(1) XSD25 型



(2) XSD50 型



(3) XSD75 型



(4) XSD 型交換槽（別売）



キャップ



交換槽付属部品

XSD75 型

項 番	名 称	目 的
1	XSD 槽	エマルジョンの破壊、分散油の粗粒化、油分の吸着除去。
2	架台	XSD 槽固定台。
3	透明チューブ	ドレン水の移送流路
5	圧力計	XSD 槽入口圧力確認用。
6	清水確認槽	処理後の清水確認。
7	清水抽出確認バルブ	清水確認およびサンプリング採取用バルブ。
8	逆止弁	XSD 槽からのドレンの逆流防止。
9	圧力計	XSD 槽入口圧力確認用。
10	アイナット	XSD 槽吊り金具
11	ストレーナ	塵埃等の除去・エレメント部にオリフィス内蔵。
12	ドレン入口ボールバルブ	XSD 槽交換およびストレーナエレメント清掃時に使用。

3. 仕様

(1) ドレンデストロイヤー (XSD 型)

型式		XSD25	XSD50	XSD75
適用 コンプレッサー	スクリー	総合計して 25kW 以下	総合計して 50kW 以下	総合計して 75kW 以下
	レシプロ	総合計して 15kW 以下	総合計して 30kW 以下	総合計して 45kW 以下
処理水の油分濃度		5ppm 以下 (n-ヘキサン抽出物質) (注 1)		
処理方式		フィルター方式 (使用済槽は弊社にご返却ください。)		
最大処理能力		10L/h	20L/h	30L/h
運転方式		電磁式ドレントラップによる自動運転 (注 2)		
減圧方式		ストレーナに内蔵したオリフィス		
XSD 槽エレメントの 交換方法		・ 二次産廃不要 XSD 槽ごと交換してください。使用済みの XSD 槽は弊社に返却することで二次産 廃の処理が不要となります。また、使用済みの XSD 槽の部品の一部は新たな予備 の XSD 槽に使用いたします。(有償)		
XSD 槽エレメント仕様		表 1 参照		
流体および使用周囲温度		2℃～50℃ (但し、ドレン水が凍結しないこと) (注 3)		
最高使用圧力/入口・出口口径		0.8MPa 以下 / Rc1/2		
XSD 槽入口圧力		電磁式ドレントラップ動作時 0.3MPa 以下		
外形寸法 (mm)		400 (W) × 280 (D) × 870 (H)	710 (W) × 295 (D) × 970 (H)	950 (W) × 295 (D) × 970 (H)
質量 (kg)		約 27kg (空質量)	約 55kg (空質量)	約 80kg (空質量)
塗装		黒色 N-1.0 半艶		

(注 1) 全国排水基準より厳しい、都道府県の条例排出基準(3ppm 以下)にも対応できます。

(注 2) ドレン集合管の一番川上側に、必ず弊社製オートエアートラップ・電子トラップ・電子トラップⅡ・スーパードレックス・
ドレックス 150 を 1 台以上取り付けてください。またスーパートラップを取り付ける時には、ドレン排出時間は取扱説明書
を読んで極力短め (3 秒間) に調整してください。

(注 3) 0℃以下の時は、凍結対策をしてください。

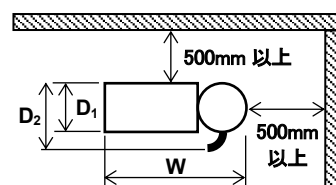
(2) XSD 槽エレメント仕様 (表 1)

項目	XSD25	XSD50	XSD75
油分濃度 (注 4)	全処理量 (L)	全処理量 (L)	全処理量 (L)
100ppm	18,750	37,500	56,250
125ppm	15,000	30,000	45,000
150ppm	12,500	25,000	37,500
300ppm	6,250	12,500	18,750
450ppm	4,167	8,334	12,500
寿命の判定方法	・ 清水確認槽の処理水が白濁してきたらフィルターエレメントの交換時期です。 ・ 日常の管理として清水確認槽で処理水を目視にて点検してください。		

(注 4) 全処理量(年間ドレン発生量)は、コンプレッサーの稼働条件、オイル消費量、負荷率、周囲環境(温湿度)によって変化します。

4. 使用上のご注意

- 本装置は防水および防塵構造ではありませんので、屋内に設置してください。
- 直射日光や熱風のあたる場所等に設置しないでください。
- やむを得ず屋外に設置する場合は、必ず屋根等を設けて雨水対策を施してください。
- 保守・点検等を考慮して、**500mm 以上**周囲を空けてください。
- フィルターエレメント槽交換作業時に無理が無いよう、天井の高さが
1,800mm 以上の場所に設置してください。
- 転倒防止のためアンカーボルトにて本装置を固定してください。
- 清水確認槽の出口に配管される場合は、清水確認槽に荷重がかからない
よう必ず**配管サポート**を取付けてください。
- 本装置のストレーナは絶対に取り外さないでください。



型 式	D1 (mm)	D2 (mm)	W (mm)
XSD25	230	280	400
XSD50	230	295	710
XSD75	230	295	950

5. ドレントラップの選定、配管および取付例

(注) 電磁式ドレントラップ取付けの際、既設のドレントラップを取外してから取付けてください。

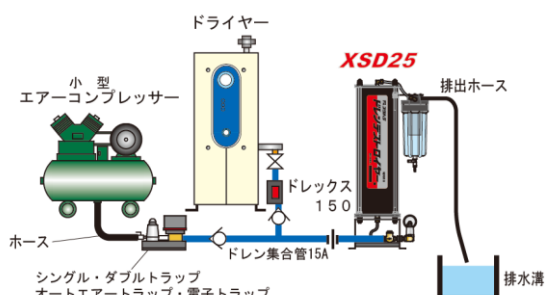
●既設のドレントラップの後にダブルで取付けますと、ドレンが抜けなくなりトラブルの原因になります。

- (a) 本装置に適合する電磁式ドレントラップは、当社製のシングルトラップ、ダブルトラップ、オートエアートラップ、電子トラップ、電子トラップⅡ、スーパードレックス、ドレックス 150、スーパートラップ、マグトラップをご使用ください。スーパートラップを使用する場合は、排出時間を「3 秒間」に設定し直してください。（工場出荷時 5 秒に設定してあります。）※ドレン量に合わせてサイクル時間を設定し直してください。
- (b) 本装置には当社製ウルトラトラップはご使用出来ません。
- (c) ドレン集合管は、15A 配管を必ずご使用ください。
- (d) 配管内に異物等入り込まないようにし、ドレントラップの出口側には逆止弁を設け、またデストロイヤーの入口側にはユニオン継手を設けてください。
- (e) 配管は立ち上がらないようにしてください。立ち上げが必要な場合、IN 側は 5m 以内とし、OUT 側は 0.5m 程度にしてください。
※OUT 側で 0.5m 以上の立ち上がりが必要な場合はご相談ください。
- (f) フロート式ドレントラップを使用する場合、電磁式ドレントラップと本装置への配管の途中に逆止弁を取り付けて配管してください。

【取付使用例】

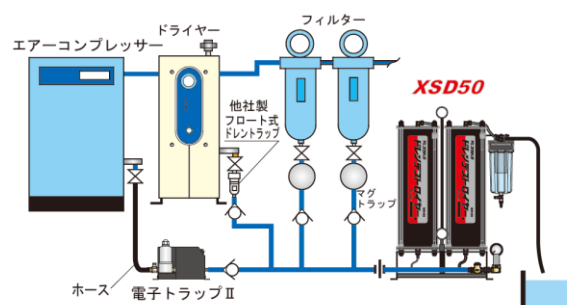
取付例①

■XSD 型をエアークOMPRESSORの近くで使用する場合



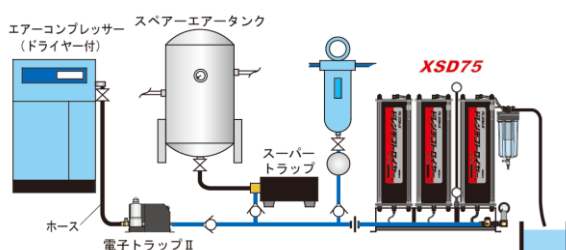
取付例②

■XSD 型をエアークOMPRESSORの近くで使用する場合



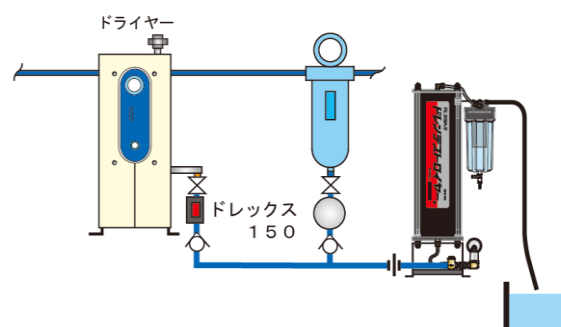
取付例③

■XSD 型をエアークOMPRESSORの近くで使用する場合



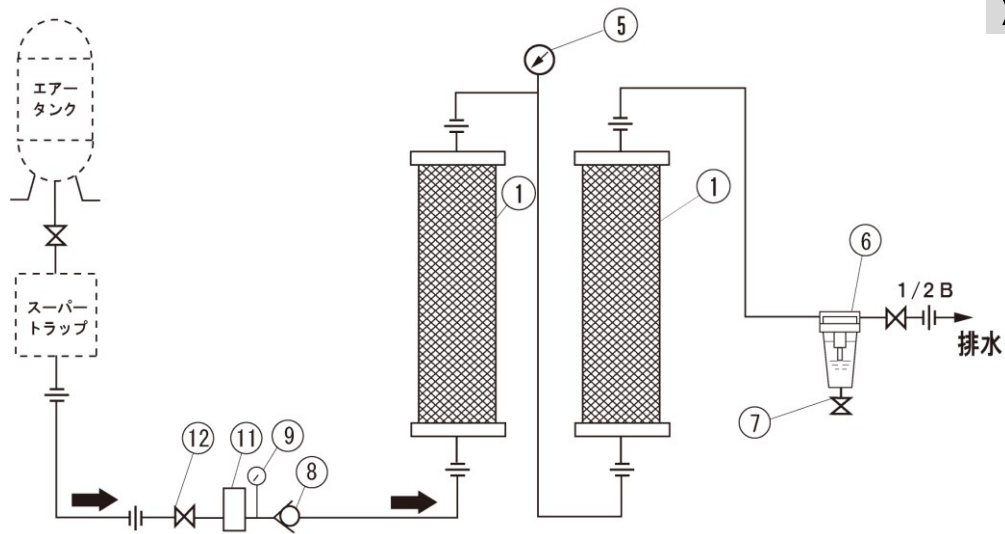
取付例④

■XSD 型をエアークOMPRESSORの中間または末端部で使用する場合



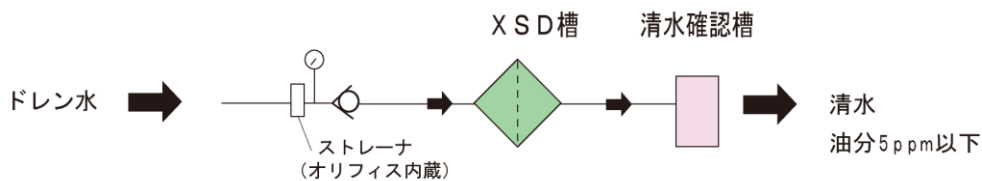
6. フローシートとドレン処理工程 (注)○番は XSD50 型の製品図面に合わせています。

XSD50 型

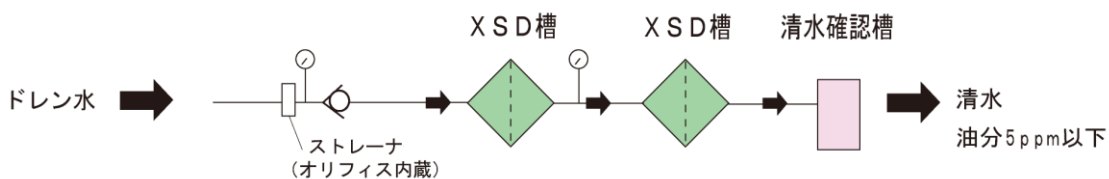


1	XSD 槽	5	圧力計	6	清水確認槽	7	清水抽出確認バルブ
8	逆止弁	9	圧力計	11	ストレーナ(オリフィス内蔵)	12	ドレン入口ボールバルブ

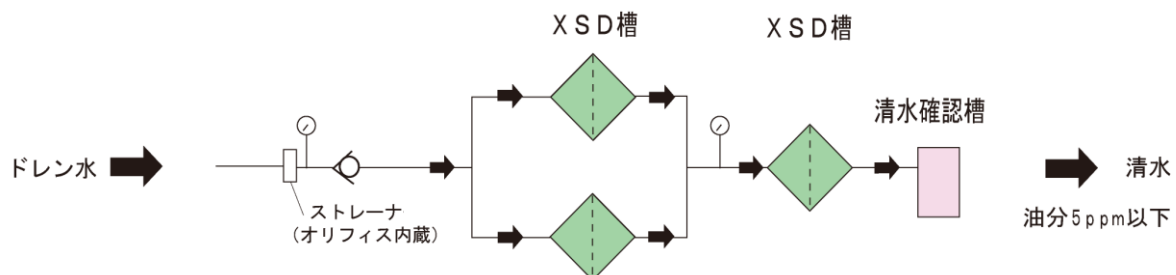
XSD25 型



XSD50 型



XSD75 型



型 式	XSD 槽	清水確認槽
XSD25	1 本	1 本
XSD50	2 本	
XSD75	3 本	

7. 運転

- (1) 本装置のドレン入口ボールバルブを「開」にしてください。
- (2) ドレントラップを動作させて本装置の圧力計 (XSD25 は⑥、XSD50/75 は⑨) の針が **0.02～0.3MPa 内**にあるか確認してください。
(注) 初期設置時はドレントラップを動作させてもすぐには清水は出てきませんが XSD 槽が満水になりますと清水が出てきます。
- (3) ドレントラップが動作していない時は、圧力計 (XSD25 は⑥、XSD50/75 は⑨) の針は「ゼロ」を指しています。
- (4) 圧力計の針を確認してください。(本体架台上部に装備：XSD50/75 型のみ)
ドレントラップ動作時は、**0.02～0.3MPa 付近**を指します。

8. 保守・点検

点 検 項 目	確認方法	点検周期				備 考
		毎日	1 カ月毎	3 ヶ月毎	1 年毎	
清水確認槽での清水確認	目 視	○		○ 油分測定		・ 油分の測定は有償 ・ 油が浮いていたり、水が濁っていたら洗浄
圧力計の確認 (XSD50/75 型)	目 視	○				通常運転時 0.02～0.3MPa
ストレーナ (オリフィス内蔵)	分 解	本体のドレン入口バルブを閉めて分解してください。		○ 注 1		分解清掃

(注 1) ストレーナの分解清掃 (3 ヶ月毎) は目安です。汚れがひどい場合は早めに分解清掃をしてください。

ストレーナエレメントは、清掃しても汚れが落ちない場合、または切れていたら交換してください。

(1) 動作の確認

- (1) ドレントラップを動作させて本装置の圧力計 (XSD25 は⑥、XSD50/75 は⑨) の針が **0.02～0.3MPa 内**にあるか確認してください。
- (2) 自動ドレントラップが故障したり、本装置のストレーナ (XSD25 は⑦、XSD50/75 は⑪) が目詰まり状態で使用されますと重大事故などに至る場合があります。定期的に点検整備を行ってください。

- (3) 処理水が透明か清水確認槽 (XSD25 は④、XSD50/75 は⑥) で目視確認してください。

(注) 清水確認槽の清水が白く濁った様になる事がありますが、これは処理水の中に空気が混じって白く見える現象で、少し経つと透明になります。

- (4) 処理水の油分濃度を測定される場合は、清水確認槽の清水抽出確認バルブ (XSD25 は⑤、XSD50/75 は⑦) より採取してください。

(注) 採取容器はよく洗浄してから約 1 リットル採取してください。
(測定に必要な量)

- (5) 清水確認槽を外す場合、本装置のドレン入口ボールバルブ (XSD25 は⑧、XSD50/75 は⑫) を閉めてから、備え付けのレンチにて清水確認槽を回して取り外してください。

(注) 清水確認槽の上の赤いボタンは 에어抜き用ですが、操作は不要です。

(注) 清水確認槽容器が水アカ等で見えにくくなった場合は、清掃してください。

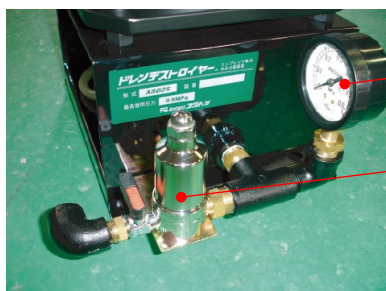
清水確認槽



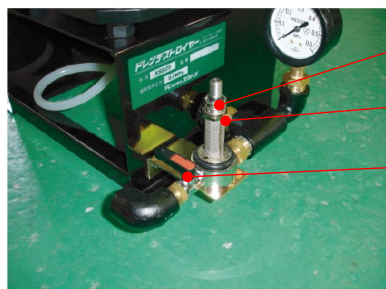
清水抽出確認バルブ

(2) ストレーナ (オリフィス内蔵) 分解清掃方法

(1) XSD25 型

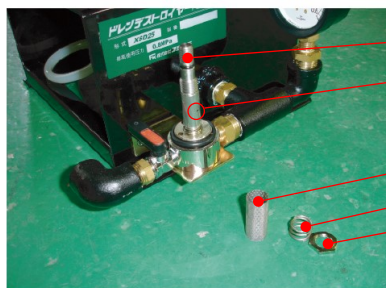


⑥圧力計

⑦ストレーナ
(オリフィス内蔵)

スプリング

ナット

⑧ドレン入口
ボールバルブセンターボルト
φ1.5mm オリフィス孔エレメント
スプリング
ナット

- (1) ⑧ドレン入口ボールバルブを「閉」にし、⑥圧力計の針が「ゼロ」になっているのを確認してから作業を始めてください。

- (2) ⑦ストレーナ上部の袋ナットをスパナで外してください。

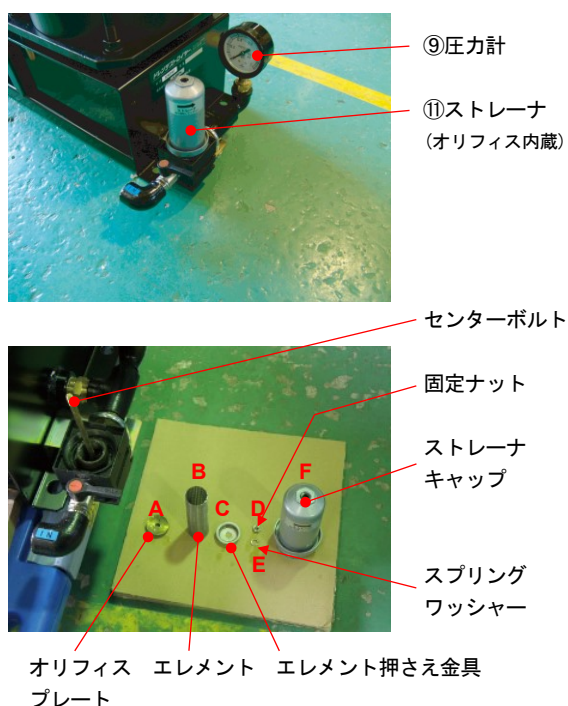
- (3) ⑦ストレーナ内部のエレメントの固定用ナットを緩めて外してください。

- (4) 外したエレメントのゴミ、異物等を取り除き洗浄してください。

- (5) センターボルトのφ1.5mm オリフィス孔の詰まりが無いか確認してください。詰まっていたらφ1.5mm 以下の針金等で異物を取り除いてください。

- (注) 組立時にはエレメント固定用のナットを締めすぎないようにしてください。

(2) XSD50/75 型



- (1) ⑫ドレン入口ボールバルブを「閉」にし、⑨圧力計の針が「ゼロ」になっているのを確認してから作業を始めてください。
 - (2) ⑪ストレーナのストレーナキャップを反時計回りに回して取り外します。
 - (3) 固定ナットを緩めて、エレメント押さえ金具を取り外します。
 - (4) エレメントをセンターボルトより取り外します。
 - (5) オリフィスプレートをセンターボルトより取り外します。
 - (6) エレメントおよびオリフィスの清掃を行なってください。
- ※取付け手順は逆の手順になります。

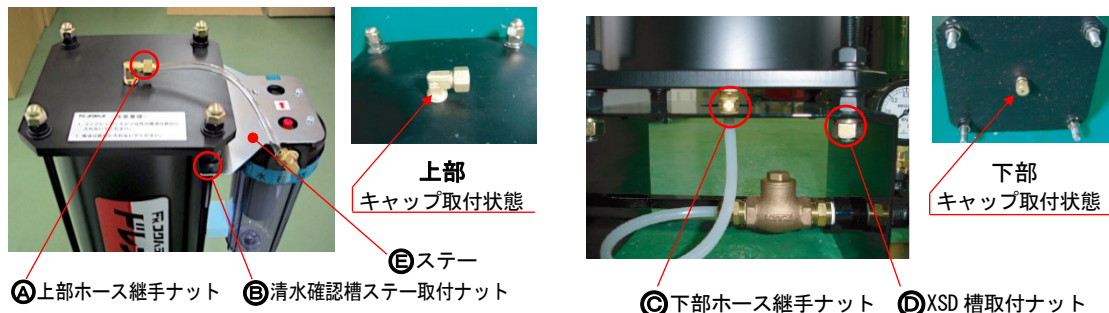
9. 故障とその対策

故 障 の 状 態	原 因	対 策
■ 処理水の白濁または汚染。	●コンプレッサーオイルが劣化(酸化)している。	●オイルを全量交換してください。
	●XSD 槽フィルターエレメントの特殊処理剤の剥離。	●1～2 週間で透明になります。
	●オリフィス内蔵ストレーナを外している	●本装置のストレーナはオリフィス孔付ですので絶対に取り外さないでください。
	●ドレンの中に多量のなま油が入りこんでいる。	●コンプレッサーメーカーにご相談してください。
	●ドレントラップからエアールが開放し。(連続してエアールを排出している)	●ドレントラップの修理または交換してください。タイマーの排出サイクルおよび排出時間の調整。
	●XSD 槽フィルターエレメントの寿命。	●XSD 槽の交換。
■ 処理水が出ない。	●本装置ストレーナの目詰まり。	●ストレーナを分解清掃してください。
	●本装置ストレーナ部分オリフィス孔の目詰まり。	●オリフィス孔詰まり部分の異物除去および掃除をしてください。
	●ドレントラップの故障。	●故障箇所を修理または交換してください。
	●コンプレッサーのエアータンクドレン孔の詰まり。	●詰まり部分の異物除去および掃除をしてください。
	●XSD 槽フィルターエレメントの寿命。	●XSD 槽の交換。
■ 本装置の圧力計の針が「ゼロ」より上がらない。	●本装置ストレーナの目詰まり。	●ストレーナを分解清掃してください。
	●本装置ストレーナ部分オリフィス孔の目詰まり。	●オリフィス孔詰まり部分を異物除去および掃除をしてください。
	●ドレントラップの故障。	●故障箇所を修理または交換してください。

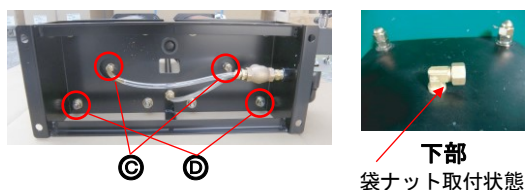
10. 処理槽 (XSD 槽) の交換方法および交換目安

- ④清水確認槽に油が流出したり処理水が白濁したら調査の上、下記の要領で XSD 槽を交換してください。
交換作業の前に必ず⑧ドレン入口バルブを「閉」にして⑥圧力計の針が「ゼロ」になっていることを確認してから作業を始めてください。

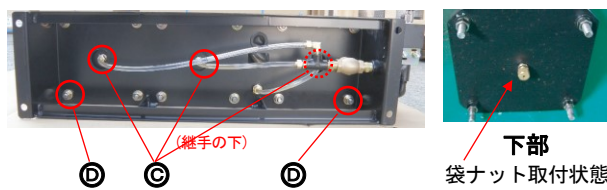
XSD25 型



XSD50 型



XSD75 型



- ①④上部ホース継手ナットを緩めて外してください。(注、付属のキャップを取付けてください。)
- ③⑥下部ホース継手ナットを緩めて外してください。(注、ナットを外すとドレンが出ますので交換用 XSD 槽に付属の袋ナットを取り付けてください。)
- ⑤清水確認槽ステー取付ナットを緩めて、ステーを外してください。
- ④XSD 槽取付ナット (1つの槽に対して4個) を緩めて外し、架台よりXSD槽を取り外してください。
- 予備槽を取り付けてください。
- 使用済 XSD 槽は、キャップを上下に締め付けて予備槽が入っていたダンボール箱に入れて、槽ごと弊社に元払いにてご返却ください。



この状態で発送します。



槽を返却される場合は、このダンボール箱を利用して、送料御社持ちにて返却発送願います。



■XSD 槽の交換目安

項 目	油分濃度	100ppm	125ppm	150ppm	300ppm	450ppm
全処理量(注) XSD25	スクリュー 総合計 25kW 以下	18, 750L	15, 000L	12, 500L	6, 250L	4, 167L
	レシプロ 総合計 15kW 以下					
XSD50	スクリュー 総合計 50kW 以下	37, 500L	30, 000L	25, 000L	12, 500L	8, 334L
	レシプロ 総合計 30kW 以下					
XSD75	スクリュー 総合計 75kW 以下	56, 250L	45, 000L	37, 500L	18, 750L	12, 500L
	レシプロ 総合計 45kW 以下					
寿命の判定方法	●清水確認槽の処理水が白濁してきたらフィルターエレメントの交換時期です。 ●日常の管理として清水確認槽で処理水を目視にて点検してください。					

(注) 全処理量(年間ドレン発生量)は、コンプレッサの稼動条件、オイル消費量、負荷率、周囲環境(温湿度)によって変化します。

(7) フィルター槽購入、交換、返却の流れについて

1. ドレンデストロイヤー製品を購入、使用開始。
2. 予備として製品購入と同時に、またはフィルター槽交換時期になる前に『XSD 槽』を製品ご購入店にご注文ください。
3. 「10. 処理槽の交換方法および交換目安」の(1)～(6)に基づき交換してください。
4. 使用済槽をフクハラ都岡工場に、運賃元払いでご返送をお願いいたします。

返却先：〒241-0031
神奈川県横浜市旭区今宿西町22-5
株式会社フクハラ 都岡工場

以下 2 ～ 4 の繰り返しになります。

※お客様での現地交換作業を含めての対応もさせていただきます。
製品ご購入店にお問い合わせください。

11. XSD 槽のリサイクルについて

- (1) 弊社に返却されてきた槽は、汚れたフィルターエレメントは槽(筒)より抜き出し、責任ある産業廃棄物処理業者に引き渡しております。
- (2) 槽(筒)、押え板、透明板、長ボルト等の再利用できる物は、洗浄、再加工等を施して再利用しております。弊社は地球環境に優しいリサイクル活動をしておりますので、何卒ご協力のほどお願い致します。

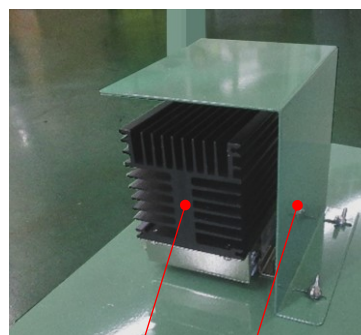
12. 寒冷地仕様ドレンデストロイヤー

(1) 仕様

ドレンデストロイヤー型式	XSD25-H	XSD50-H	XSD75-H
温風ヒーター型式	PH-200F		
電源・周波数	AC100V 50/60Hz		
加温方式	ヒートシンク・送風		
温風ヒーター消費電力	210W		
安全装置	温度過昇防止装置（サーモスタット）、温度ヒューズ		
使用周囲温度	-10℃～50℃		
取付個数	1 個		
温風ヒーターの質量	1.3kg/個		
温風ヒーターの外形寸法	143mm (W) × 120mm (D) × 115mm (H)		
本体外形寸法	540 (W) × 370 (D) × 1,200mm (H)	770 (W) × 370 (D) × 1,200mm (H)	1,000 (W) × 370 (D) × 1,200mm (H)



トグルスイッチ



ヒーター カバー

(2) 作動

- ① ドレン水が凍結の恐れがある時のみに、ドレンデストロイヤーの前面化粧板に付いている、温風ヒーター用のトグルスイッチをONにして作動させてください。
- ② 冬場は本体カバー（幌）のチャックは完全に閉めて温風ヒーターをご使用ください。

(3) 注意事項

- ① 必ず漏電ブレーカーを取り付けてください。
- ② 冬場以外の凍結の恐れがない場合は、前面化粧板に付いているトグルスイッチを切り、専用漏電ブレーカーを切ってください。
- ③ ドレンデストロイヤーの入口までの配管、および出口の配管に凍結防止帯（市販品）を取り付けてください。
- ④ 温風ヒーターおよび電源線が水に濡れた場合、ただちに温風ヒーターの運転を中止し、水等を拭き取り、乾かしてから再度使用してください。
- ⑤ 夏場等本体カバー（幌）内部が 40℃以上になる場合は、カバー（幌）を取り外してください。
- ⑥ 槽の交換時は温風ヒーターの電源を切り、元電源を切ってください。
電源OFF後、ヒーターカバーと温風ヒーターを本体架台より取り出してから、槽を交換してください。

[illegible]

MEMO

[illegible]

感動をもたらす

省エネ、環境関連機器をデザインする



株式会社フクハラ

本社・工場 〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西 1-15-5
TEL 045 (363) 7373 FAX 045 (363) 6275
URL www.fukuhara-net.co.jp
E-mail: eigyo@fukuhara-net.co.jp